

昭和大学薬学部

昭和大学は医学部・歯学部・昭和大学病院・昭和大学東病院がキャンパスに隣接。薬学部と昭和大学病院は道路を隔てているだけ。しかも昭和大学病院の薬剤部長は薬学部の教授を兼任しているため風通しのいい教育環境が得られている。学生は臨床環境に触れながら学ぶことができる。

また昭和大学は1年次を富士吉田のキャンパスで学ぶが、このときの共同生活が社会人になっても財産になっている。昭和大学出身の医学部教授と薬学部教授の仲がいいのも特色だ。

さらに4年次の事前学習を終了後、独自の実務実習も行う。病院薬局での実習を4週間。続いて関連8病院で4週間の病棟実習を2病棟で経験。現実の臨床の中で学ぶため、現場と事前学習施設の構成を上手くタイアップさせている。これらの経験は、将来薬剤師となっても幅広い知識になるだろう。



隣接する昭和大学病院

模擬実習施設(同じセットが反対側にもある。空があれば自主的な実習もできる)



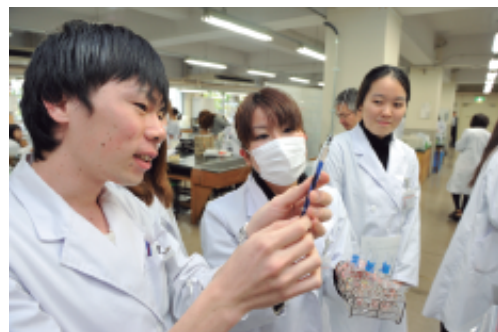
調剤実習(製剤)



調剤実習室(散剤)



調剤実習(散剤)



学生実習



昭和大学病院薬剤部(無菌調剤)